

ウェブサイトのSEO対策

技術士（情報工学） 佐伯英子

● SEO対策とは

ウェブサイト（ホームページ）を運営する上で、SEO対策が重要だとよくいわれる。

SEOとは Search Engine Optimization（検索エンジン最適化）のことで、**検索サイト**の上位に表示されるよう、ウェブページを調整する技術や作業をいう。

インターネットで何かを調べるとき、多くの場合 Google や Yahoo といった検索サイトを利用する。キーワードを入力して検索ボタンをクリックしたり、Enter キーを押したりして、目的の情報が掲載されているページを探すわけで、検索上位に出なければ、いくら綺麗なサイトを作っても人に見てもらえないのだ。

検索サイトは、インターネット上にあるウェブページや画像、動画、文書等の内容を自動的に収集し、データベース化している。

情報の収集は、検索ロボットあるいはクローラとよばれるソフトウェアが、各ページのリンクをたどって自動的におこなう。

収集したページの情報は評価づけされ、データベースに保存される。

検索ロボットの訪問や検索データベースへの登録は、**無料**で自動的におこなわれている。

したがって、検索上位に表示されるようになれば、費用を掛けずに多くの人に商品やサービスをアピールできるのだ。

● 検索で上位に出るための工夫

検索で上位に表示されるためには、タイトルや本文に検索されたい言葉（キーワード）が含まれていなければならない。

最も重要なのはページのタイトルで、最重要キーワードは必ずタイトルに含める必要がある。

本文では、キーワードを見出しや大きな字、強調文字などで表示すると効果的である。

デザインはステキなのに画面全体が画像で、文字情報が全くないページを今でも見ることがある。

問い合わせも注文も全く来ないとお困りであるが、そもそも検索しても出てこないのだ。

新しいサイトを立ち上げたとき、どこか検索ロボットがやって来るサイトからリンクを張ってもらえば、やがて検索ロボットが情報収集に来てくれる。

● スパム認定に注意

気をつけなければならないのは、検索サイトに**スパム**と認定されることで、検索結果から除外されてしまう。

例えば、タイトルと内容が全くちがうとか、背景と同じ色で隠しキーワードを入れるとか、しつこくキーワードを強調する等、あからさまに検索エンジンに高評価させようとするのは禁物である。

また、スパムと認定されたサイトにリンクを張っていると、それだけでスパム認定されてしまう。

ある日突然、自社のサイトが検索に出なくなったら、リンク先がスパムになっている可能性がある。

また、内容に関係ない多数のサイトにリンクを張ると、スパム扱いされる可能性が高い。一度スパム認定されると、回復には一定の期間がかかり大きなダメージを受けてしまう。

検索サイトは、検索の品質向上を大切にしている。

検索者が、スパムや内容を伴わないサイトに引っかかることがないように、努力しているのだ。

● 閲覧者に有益なサイトをめざそう

SEO対策で最も重要なのは、閲覧者が知りたい情報を**素直**に提供する内容になっているということだ。

何とか検索上位に出たいと思うあまり、あざとい「小技」に走ってしまえば、逆に評価を下げることになり、やればやるほどスパムに近づいていく。

閲覧者のためになる、分かりやすく的確な内容のページを**誠実**に作ること、これが最大のSEO対策なのである。

公益社団法人日本技術士会近畿本部登録 近畿PE技術相談室

<http://kinkipesodan.xsrv.jp/>